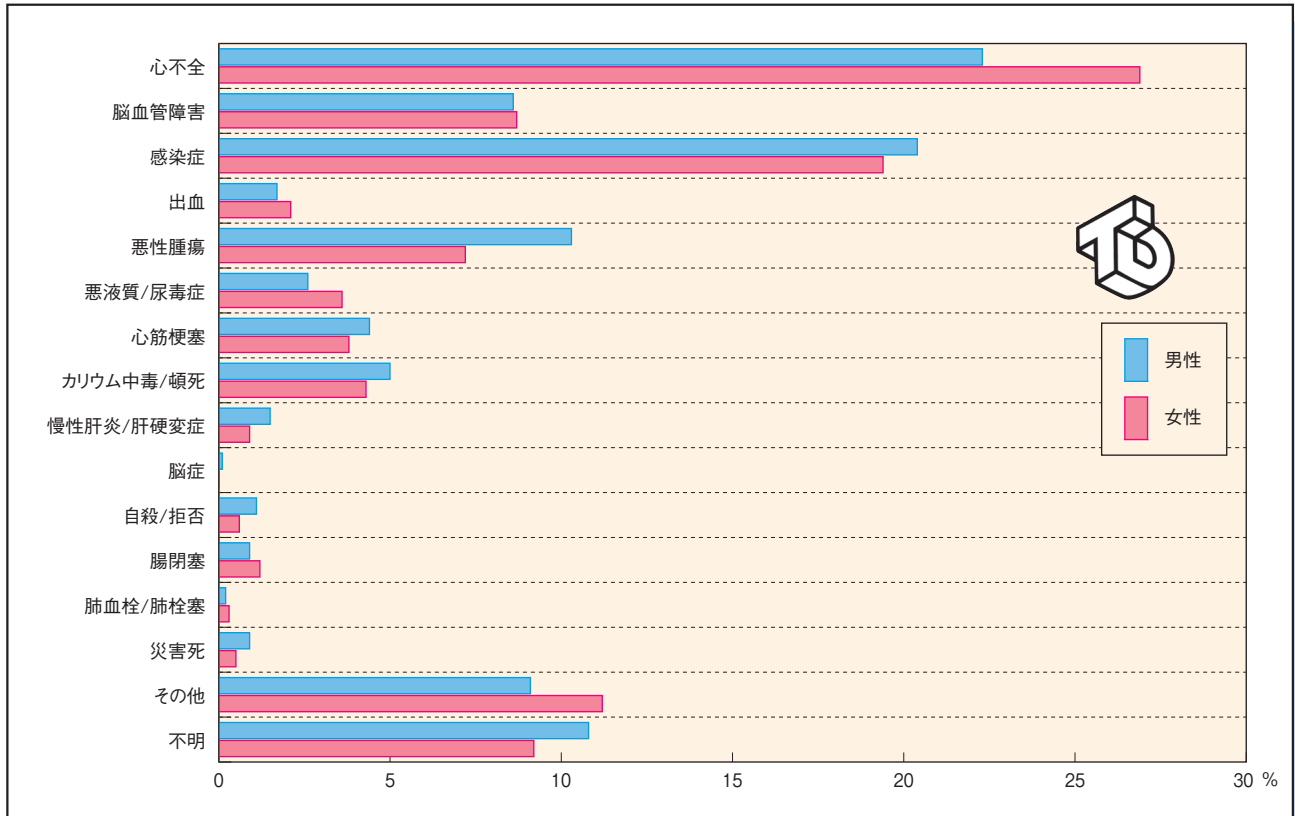


5) 死亡原因

(3) 2008年死亡患者の死亡原因分類 (図表18)



死因	男性	女性	合計	記載なし	総計	死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
心不全	3,539	2,454	5,993		5,993	脳症	8	4	12		12
(%)	(22.3)	(26.9)	(24.0)		(24.0)	(%)	(0.1)	(0.0)	(0.0)		(0.0)
脳血管障害	1,365	789	2,154	1	2,155	自殺/拒否	182	55	237		237
(%)	(8.6)	(8.7)	(8.6)	(33.3)	(8.6)	(%)	(1.1)	(0.6)	(0.9)		(0.9)
感染症	3,238	1,773	5,011		5,011	腸閉塞	146	113	259		259
(%)	(20.4)	(19.4)	(20.0)		(20.0)	(%)	(0.9)	(1.2)	(1.0)		(1.0)
出血	275	187	462	1	463	肺血栓/肺栓塞	38	29	67		67
(%)	(1.7)	(2.1)	(1.8)	(33.3)	(1.9)	(%)	(0.2)	(0.3)	(0.3)		(0.3)
悪性腫瘍	1,641	660	2,301		2,301	災害死	136	43	179		179
(%)	(10.3)	(7.2)	(9.2)		(9.2)	(%)	(0.9)	(0.5)	(0.7)		(0.7)
悪液質/尿毒症	418	328	746		746	その他	1,443	1,020	2,463	1	2,464
(%)	(2.6)	(3.6)	(3.0)		(3.0)	(%)	(9.1)	(11.2)	(9.9)	(33.3)	(9.9)
心筋梗塞	693	348	1,041		1,041	不明	1,716	836	2,552		2,552
(%)	(4.4)	(3.8)	(4.2)		(4.2)	(%)	(10.8)	(9.2)	(10.2)		(10.2)
カリウム中毒/頓死	799	396	1,195		1,195	合計	15,873	9,120	24,993	3	24,996
(%)	(5.0)	(4.3)	(4.8)		(4.8)	(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
慢性肝炎/肝硬変症	236	85	321		321	記載なし	58	34	92	4	96
(%)	(1.5)	(0.9)	(1.3)		(1.3)	総計	15,931	9,154	25,085	7	25,092

数値下のかっこ内は列方向の合計に対する%です。

患者調査による集計

解説

年間の死亡者数は透析患者の増加とともに経年的に増加している。2008年では26,901人が死亡し、2007年と比較して1,664人(6.6%)の増加であった。患者調査表に死亡原因と性別が記載された24,993人で検討すると、2008年の死亡原因は心不全(24.0%)、感染症(20.0%)、不明(10.2%)、その他(9.9%)、悪性腫瘍(9.2%)、脳血管障害(8.6%)の順となった。性別による比較では、男性で感染症と悪性腫瘍が若干多いこと、女性で心不全とその他が若干多かった。この傾向は2007年の検討と同様である。心不全、脳血管障害、心筋梗塞をまとめて検討すると女性では39.4%、男性では35.3%であり、女性の方に心血管合併症死が多い。